

基本の対策から農業被害急増時の捕獲強化まで、状況に応じたクマの対策を支援します。

## 平時

### 複合対策（クマ）

生息調査、調査に基づくゾーニングと生息環境管理を含む、地域ぐるみの総合的な対策の実施を支援。

補助率：定額

限度額：取組数に応じ市町村あたり  
100万円又は200万円

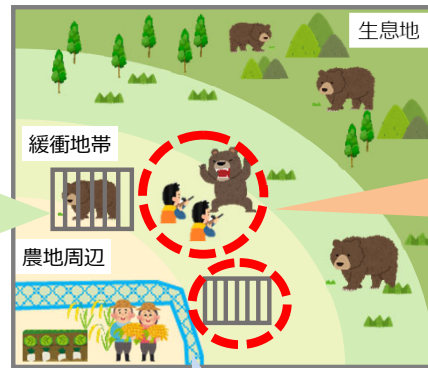


### 捕獲活動

- ① 捕獲機材の導入経費
- ② わなの設置、見回り等を含む捕獲活動に係る日当払い
- ③ 農地周辺での捕獲活動に係る頭数払い

補助率：

- ①, ② 1/2以内（実施隊が行う場合は定額）  
（①の上限：箱わな（大型）119千円/基）
- ③ 定額（上限：クマ（成獣）8千円/頭）



## 農業被害急増時

### クマ特別対策

農地周辺における、有害性の高い個体の捕獲対策の強化を支援。

補助率：定額

限度額：都道府県3,000万円、協議会300万円

#### 【採択要件】

- ・捕獲区域、時期、目標等を含む捕獲計画を作成し、捕獲従事者への支援水準引き上げ等に留意した単価を設定し、国に協議すること
- ・専門家による生息状況調査に基づくゾーニング・生息環境管理の取組を実施すること
- ・捕獲にあたり、個体数等についての適切なモニタリングの実施を前提とし、二種計画の捕獲目標と整合性を取った捕獲計画を策定すること
- ・事業概要及び捕獲活動経費の単価を公表すること

#### 【活用方法の例】



## 基本の対策

### 緩衝帯等の整備・追払い

- ・緩衝帯の設置
- ・放任果樹の除去
- ・雑木林の刈り払い
- ・追い払い
- ・クマスプレーの導入

補助率：1/2以内  
（実施隊が行う場合は、定められた上限額以内で定額支援）  
※大規模（1ha以上）整備の場合  
上限単価：48万円/ha



### 侵入防止柵の整備

侵入防止柵の新規または再編整備  
※既存の捕獲機材（わな）等を一体的に設置することが要件

補助率：定額

上限単価：電気柵新規整備1段あたり  
148円/m（直営施工）等

- ・農地周辺の電気柵の二重設置
- ・設置・撤去が容易な電気柵の一時的な整備

